

資料1

委員	1. 令和2年度市民アンケート調査結果概要について	2. 伊豆市まち・ひと・しごと総合戦略 令和元年度(最終年度)の実績評価について
委員1	<p>&lt;ご意見&gt;                      (3) 伊豆市の産業力の強化                      ・「観光交流を中心とした地域産業の振興」についての20代が40%以上と、他世代を突出している点                      ・一方、30代は創業・就業支援、新分野へ進出する企業への支援で40%以上と他世代を突出している点                      (4) 地域の魅力発信のために力を入れるべき施策                      ・「地域資源を活用した地域ブランド化の推進」に全世代で高い関心を示しており、特に20歳代で約70%となっている点                      →以上から、市民全般が地域の潜在的な価値を何とか活かしたいという意識が強いこと、特に若い世代でその意識が高いと感じられ心強く思います。</p> <p>(5) 子育て支援                      ・「仕事と子育ての両立」                      (6) 教育環境づくり                      ・「多様化に対応する学習環境」                      →上記が、全世代で期待されており、これ等についても20代が他世代より高い数字となっており、若い市民が希望を持ち正しい方向を目指しているように感じられ、心強く思いました。</p>	意見等はありません。
委員2	意見等はありません。	意見等はありません。
委員3	<p>&lt;ご意見&gt;                      アンケートの結果を見て、そこそこ住みやすく、そこそこ愛着を感じ、このコロナ禍の中、田舎で良かった…と思う方々が多くいらしゃって安堵する反面、結構手厚い子育てや教育の取り組みをしているけれど、なかなか人口減少の歯止めになっていないのが歯がゆいなあ…と。                      沢山のプロジェクトや取り組みをして下さっているのに、受け手の各々の市民が情報をキャッチすべくアンテナを張っていないような気もするし、双方がもっと効率よくキャッチボール出来たら良いのですが、難しいです…ね。</p>	<p>&lt;ご意見&gt;                      年々ゆるやかでも指標が上がりつつなのは嬉しいのですが、ここに来て、世界規模なので仕方ありませんが、コロナ禍による観光業をはじめとする産業の落ち込み、オリパラの規模縮小によるさらなる減少方法の影響が、今後どれくらい出るのか心配です。ピンチをチャンスに変えて、前向きに、出来ることからコツコツと伊豆市民がワンチームで取り組んで、前進できるといいな…と願っています！ 漠然としたコメントですみません。</p>
委員4	<p>&lt;ご意見&gt;                      伊豆市の産業の強化については、子を持つ親として特に関心があります。魅力ある働き場所が増えるように企業誘致・留置の推進に力を入れてもらいたい。</p>	<p>&lt;質疑&gt;                      若者交流プロジェクトの中の婚活セミナー・イベントの開催については、非常に良い取り組みだと感じます。ふれあいイベントが参加者不足で中止になったということですが、とても残念でもったいないです。今の若者(時代)に合っていないのでしょうか？原因は何でしょうか？</p> <p>&lt;回答&gt;                      ⇒婚活セミナー・イベントについては、コロナの影響や男性の参加者は集まるものの、女性の参加者が集まらなかったことから、残念ながら開催中止となりました。女性からは気軽に参加しづらいのご意見もいただいていることから、参加のハードルを下げるような工夫を行っていきたいと考えております。</p>

令和2年度 伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 書面協議結果

委員	1. 令和2年度市民アンケート調査結果概要について	2. 伊豆市まち・ひと・しごと総合戦略 令和元年度(最終年度)の実績評価について
委員5	<p>&lt;ご意見&gt;                      移住情報センターで対応していると、コロナ禍の影響での移住要望は確実に増加している。その中でも30代40代の子育て世代の割合が上がっている。伊豆市への愛着が低い世代と同世代の移住者が、伊豆市を選択した理由や魅力と感ずるポイントを取りまとめ、可視化することが必要かと思う。</p> <p>&lt;回答&gt;                      移住情報センター来訪者のご意見や市役所実施アンケート結果等を活用し、様々な視点で伊豆市の魅力の可視化を検討いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。</p>	<p>&lt;ご意見&gt;                      子育てサービスに対する満足度が目標に達していないという現状だが、支援内容としては評価の高い長泉町と比べても遜色ないということを具体的な数値比較等で子育て世代にPRできる方策が必要ではないか。</p> <p>&lt;回答&gt;                      今後のPRには、いただいたご意見を参考にした情報発信を検討してまいります。</p>
委員6	<p>&lt;ご意見&gt;                      ・アンケートはまとめ方がよく、問題点がはっきり見えました。グラフもとても見やすかったです。</p> <p>①(1)伊豆市を住み良いと思うか                      住みやすさについては、地区によってバラつきがあり、土肥・中伊豆は交通の便の不便さ(バスの便が少ない)が、大きく影響しているように感じました。交通の便は市民にとって切実な問題です。</p> <p>(2)伊豆市への愛着                      (3)今後も伊豆市に住み続けたいと思うか                      愛着や住み続けたいかについては、子どもたちの教育の中で、伊豆市の良さを理解することや、郷土を愛する心を育てていきたいと思ひます。その意味でも『伊豆っ子宣言』を出したのは良かったです。また、大人が子どもたちに良い見本を示すことも大事だと思ひます。生き生きと楽しく働き、生活する大人を見れば、「自分たちも伊豆市で暮らしていこう」となると思ひます。そのためには、職場、住居がやはり大事になってきますね。</p> <p>②人口の問題について                      過疎化が進み、マイナス面ばかりが目立ってしまひますが、まだまだ伊豆市ならではの魅力を探り、創造していけると良いと思ひます。全国には、先進例があると思ひますので、学びながら道を探っていければと思ひます。</p>	<p>&lt;ご意見&gt;                      ・戦略体系の1については、産業力が育つことで雇用につながり、若者のU・Iターンが増えるのではないのでしょうか。伊豆市の名産品を生かしていくような、よい意見を出し合っていきたいものです。</p> <p>・2と3については、指標の達成率が高いので、引き続き、全指標達成に向かって、よりいっそうの頑張りが見られるとよいです。その中で、私が気になったのは、子育て支援サービスの満足度が低いことです。伊豆市は子育て支援に積極的に取り組んでいると思うので、残念な数値です。いつも言われる「PRがヘタだね。不足しているよね」(努力はされているんですよね…)だけではなく、市民のニーズを受け止めきれてないのでしょうか？1つの例ですが、アンケート毎回「公園がほしい」という意見が多数出されます。ですが、いっこうに公園は増えませんか。「自分たちの思いを聞いてくれた」「自分たちの思いが届いた」という、積み重ねが大事な気がします。市民の思いを受け止めて良い市を作るために一緒に進んでいけると良いと思ひます。P.S.公園については、計画があるような話も聞きますが、早く実現できると良いです。</p>
委員7	<p>&lt;ご意見&gt;                      伊豆市が「住み良い」と回答している人が70.1%となっているが低いと思ひた。80%以上でなければ、今住んでいる人も、何かあれば転居するかもしれないし、他の市町から転入してくる人は少ないと思ひます。もつと今住んでいる伊豆市民に、「伊豆市は住みやすい」とアピールできるくらい住みやすくなってほしいです。</p> <p>転入してくる人が少ない理由は、とくに30歳代では、自治会などの地域のつながりのわずらわしさも感じているからだと思ひます。実際、私の地域でも30歳代、40歳代は少なく、若い人からいろいろなことを願ひされることがあり、仕事、子育てに忙しい中、大変だなあと思ひているし、かといって新入りなので断ることもできなく、不満に思ひている。</p>	<p>&lt;ご意見&gt;                      いくつか前年に比べて達成されているとなっているが、伊豆市民としては、あまり変わっていないように感じる。</p> <p>・PR活動(YouTube、Instagram、Twitter、ホームページ)                      ・自然を生かしたまちづくり(大きな公園、アスレチック広場、〇〇狩り、自転車で走れる場所(川の堤防など)、植物園)</p>
委員8	意見等はありません。	意見等はありません。

令和2年度 伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 書面協議結果

委員	1. 令和2年度市民アンケート調査結果概要について	2. 伊豆市まち・ひと・しごと総合戦略 令和元年度(最終年度)の実績評価について
委員9	<p>&lt;ご意見&gt; 「住み良い・まあ住み良い」が70%、「愛着を感じる・やや愛着を感じる」75%と相応に高いが、一方で、「できれば市外に移りたい・すぐにも移りたい」が20～30歳・35～40歳で高い点が気になる。原因を深掘した検証が必要と思われる。また、まとめにも記載があったが、施策と市民の間に認識のギャップが伺えるのであれば埋める手立ても必要と感じます。</p>	<p>&lt;ご意見&gt; 「ひと・しごと」では相応の成果が見られる一方で、「しごと」については改善の余地があるように感じられる。特に企業誘致は、地域活性化においては欠かせないテーマと思われる。まずは、伊豆箱根鉄道沿いの開発・企業誘致の推進が望ましい。</p>
委員10	意見等はありません。	意見等はありません。
委員11	意見等はありません。	<p>&lt;質疑&gt; 新規創業者数が5か年で28件となっていますが、新規創業者のその後の活動状況はどうですか(続いているか、廃業したか)? また、新規創業者に新たに雇用された人は何人いますか?</p> <p>&lt;回答&gt; ⇒新規創業28件のうち、22件が現在も営業を継続しています。また、新たに雇用された人数は33名となります。</p>
委員12	意見等はありません。	<p>&lt;ご意見・質疑&gt; ①就労機会の拡充→就職面談会の実績は?(求人数、求職者数、就職件数など) ②同様にU・Iターンの促進→首都圏での説明会の実績は?(参加学生数など) ③今後、首都圏に出る前の在校生(就職希望者だけでなく進学希望の学生)に対しても、地元企業を周知するガイダンスを計画してはどうか。</p> <p>&lt;回答&gt; ⇒実績 ①就職面談会(伊豆市・伊豆の国市合同実施) 【H27～R1延べ数】※一部カウント不可 ・出展数61社、参加人数48人、採用者数10人 ②首都圏での学生対象説明会 【H27～R2延べ数】 ※美伊豆主催:旅館、ホテル事業者のみ ・出展数146社、参加人数476人 ③在校生対象の地元企業周知ガイダンスのご提案 →現在実施しておりません。今後検討いたします。</p>
委員13	意見等はありません。	<p>&lt;ご意見&gt; 感想ですが、達成しているところが多くて皆様の努力等あって達成したところが多く、またこれからの課題も見据えて参加できればと思います。</p>